

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道21号 <small>ぎだい</small> 岐大バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自： <small>ぎふ</small> 岐阜県岐阜市東中島 至： <small>ぎふ</small> 岐阜県大垣市長松町	延長	23.9 km		
事業概要	一般国道21号は、岐阜県瑞浪市を起点とし滋賀県米原市に至る全長102kmの幹線道路であり、岐阜県を含む東海圏域と滋賀県を含む関西圏域の交流・連携や産業・経済を支えるなど重要な役割を果たしている。岐大バイパスは、岐阜大垣間を結び、交通混雑の緩和や交通安全の確保を目的とした延長23.9kmの道路で、地域高規格道路「岐阜南部横断ハイウェイ」の一部として位置付けられている。				
S35年度事業化	S36年度都市計画決定	S36年度用地着手	S39年度工事着手		
全体事業費	1100億円	事業進捗率	60%	供用済延長	23.9km
計画交通量	64,300台/日				
費用対効果分析結果	B/C ： (事業全体) 1.4 (残事業) 2.5	総費用 ： (事業費) 311/1088億円 (維持管理費) 76/76億円	総便益 ： (走行時間短縮便益) 839/1431億円 (走行経費減少便益) 98/165億円 (交通事故減少便益) 40/77億円	基準年 ：	平成22年
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.0(交通量-10%) B/C=3.1(交通量+10%) 事業費変動：B/C=2.3(事業費+10%) B/C=2.8(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=2.2(事業期間+20%) B/C=2.7(事業期間-20%)				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ①円滑なモビリティの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・現道の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・現道の旅行速度改善が見込まれる。 ・特急停車駅（岐阜駅）へのアクセス向上が見込まれる。 ②国土・地域ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路の位置づけあり【岐阜南部横断ハイウェイ】 ・日常活動圏中心都市間（大垣市～岐阜市）を最短時間で連絡する。 ・日常活動圏中心都市（瑞穂市～岐阜市）へのアクセス向上が見込まれる。 ③個性ある地域の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・拠点開発プロジェクト（ソフトピアジャパン）を支援する。 ④安全な生活環境の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・茜部本郷交差点、藪田交差点、藪田南5交差点の安全性向上が見込まれる。 ⑤災害への備え <ul style="list-style-type: none"> ・第一次緊急輸送路としての位置づけられている。 ⑥地球環境の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる。 ⑦生活環境の改善・保全 <ul style="list-style-type: none"> ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。 				
関係する地方公共団体等の意見	岐大バイパスは、各務原市・大垣市等の沿線地域の産業集積圏を結ぶ地域連携軸として、十分な機能を発揮することが期待されており、国道21号沿線の各務原市をはじめとする関係8市6町の首長で構成される国道21号・22号および岐阜南部横断ハイウェイ整備促進期成同盟会より早期整備の要望（平成22年7月26日）を受けている。				
岐阜県の意見	対応方針（原案）案のとおり、事業の継続をお願いします。 なお、事業の実施にあたっては、引き続き本県と十分な調整をしていただくとともに、コスト削減の徹				

